

ささえあいいね②

平田で発見！ 暮らしの中にある宝物



「手の中を見つめるうさぎ」木彫作家 福山智子氏（平田町）



「平田町のオリーブの木」画家 福山敬之氏（平田町）

発行 2026年3月
平田ふくしのまちプラン実行委員会
平田地区まちづくり協議会

編集
認定特定非営利活動法人
まちづくりネット東近江



平田ふくしのまちプラン実行委員会

～みんなが支え合い、安心してイキイキと暮らせるまち平田～

「平田地区に住んで良かった」と思える福祉のまちづくり

平田ふくしのまちプラン実行委員会 会長 古澤 実和子

みんなが主役になれるまちを目標に、「平田にずっと住んでいた」と、一人でも多くの方に思ってもらえる地域づくりができてほしいなと思い活動しています。

身近な活動として、八日市西小学校と船岡中学校で登校時のあいさつ運動を継続してきたことで、最近では子どもたちから率先してあいさつしてくれるようになりました。子どもたちの大きな声から私たちも朝から元気をもらっています。毎月の「カフェゆきのやまふれあい広場」では、御沢神社の神鏡水で淹れたコーヒーでほっと一息、様々なイベントを通して楽しい一時を過ごしています。昨年は「平田食堂」を開催し、多くの地元のみなさんからお米や野菜を提供いただき、おいしいカレーをみんなで食べました。高齢のご夫婦や親子連れなど幅広い年代の方に参加いただき、笑顔いっぱいの場になりました。また、まち協との「ひらたパンまつり」、平田再発見との「ぶらぶら散策」など、他団体とのコラボ企画にも力を入れてきました。参加いただいたみなさんの「ありがとう、よかったわ」の声が次につながるエネルギーになっています。

地域の「お宝」として、集いの場や人財を取材し、平田の素敵なところに改めて気付かされ、その大事さを本冊子にまとめました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

今後も、笑顔あふれる地域を、出会いとつながりを大切に、平田のみんなで築いていきましょう。



平田地区まちづくり協議会 会長 増田 伊知郎

平田地区まちづくり協議会では、「誰もが住み続けたい、誰もが住んで良かった、住んでみたくなるまちづくり」の夢を実現するため、地域の力で変わろうと努力し続けています。

平田地区には、雪野山古墳などの歴史文化資産、雪野山・瓶割山・白鳥川などの豊かな自然環境と地域の人々の暮らしが生み出す良好な田園風景、そこから生み出される多彩な農産物など、様々な地域資源に恵まれています。

そうした地域資源を活かした様々なイベントで地域の活性化を図るとともに、地域以外の方々にも平田地区の魅力を発信しています。

昨年の大きなイベントとして、東近江市合併 20 周年に開催された「びわこ東近江 SEA TO SUMMIT」では、北は山形、南は福岡から 300 名近くの参加者をお迎えし、コミセンから雪野山の頂上までバイクとバイクで平田の自然を満喫していただき、平田の特産品によるおもてなしで感謝の声をたくさんいただきました。また、ふくしのまちプランとの共催による「ひらたパンまつり」には、地区内外からたくさんの方に参加いただき、平田の黒豆を活かしたコラボパンも好評いただいています。

一方で、地球温暖化や異常気象等により、世界各国で甚大な災害が頻繁に発生しており、平田地区においても「南海トラフ地震」に備えることが喫緊の課題だと考えております。災害発生時は、公助の復旧には時間がかかり、地域住民の命は地域で守っていくしかありません。消防団をはじめ各団体とも協力し、地域の安全・安心に努めたいと考えております。

今後も、地域の福祉とまちづくりに、みなさまのご理解ご協力を得ながら、まちづくり協議会として、より一層の努力をしております。みなさまのご参加をよろしくお願いいたします。



平田ふくしのまちプランとは？

『みんなが支え合い、安心してイキイキと暮らせるまち平田』を目指して…

平田地区のみなさんの「こんな地域にしたい」という思いや願い、現状や課題を整理し、平田らしく、平田に必要な福祉のまちづくりを住民の手で進めるための活動計画です。

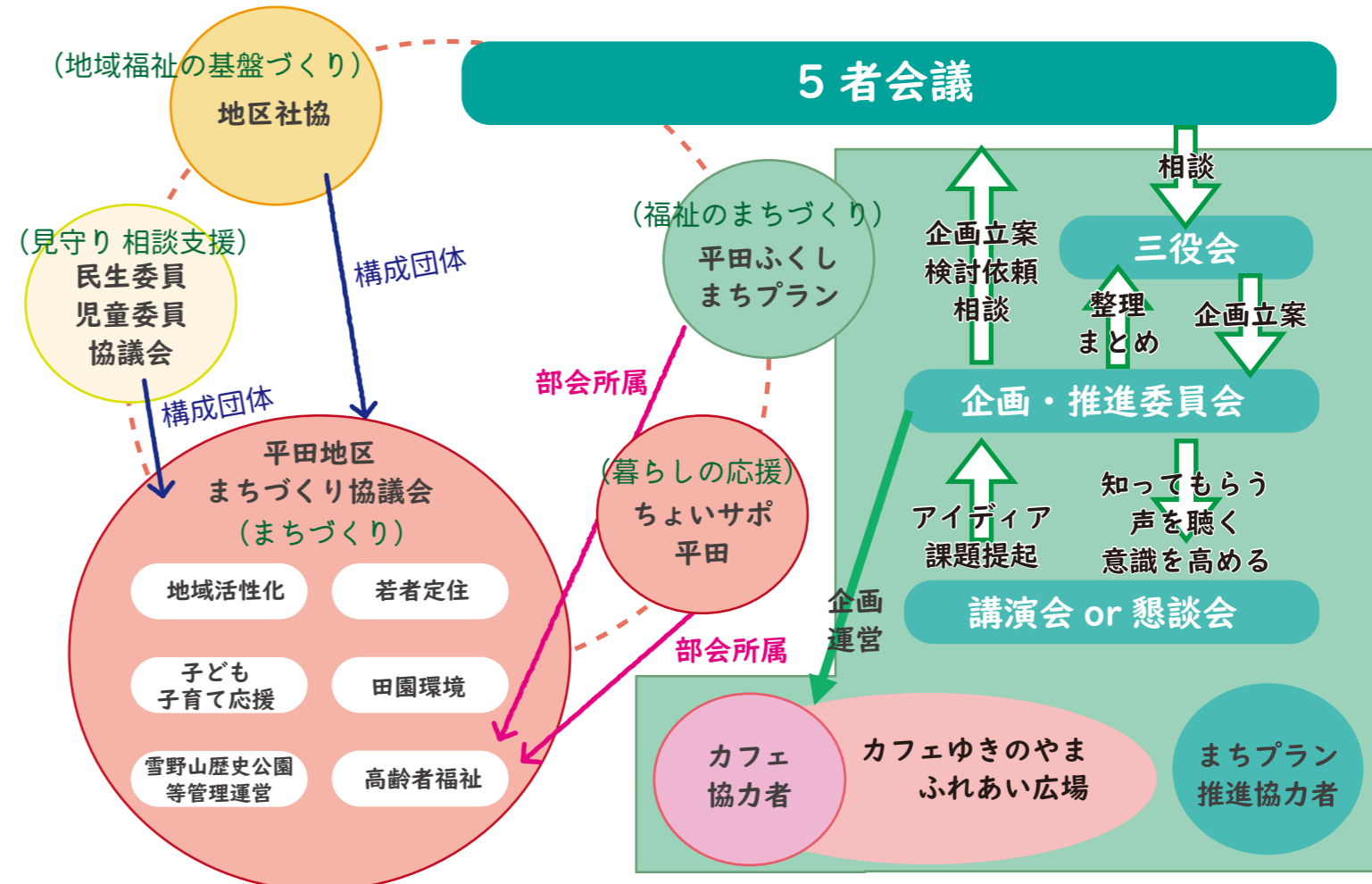
「あいさつ+ひと声運動」・「交流の場づくりの充実」・「各種団体と共に歩み助け合う」を3つの柱をもとに、人と人との「きずな」や「地域愛」を育み、「平田地区に住んで良かった」と思える共助の地域づくりを進めています。



平田の福祉のまちづくりに必要なことを話し合う

平田ふくしのまちプラン実行委員会 企画・推進委員会

「今、平田に必要なことは何か?」「こんな活動ができたらいいな」「こんなことやってみよう」などを毎月話し合い、多様な人や団体との協働をもとに、『平田ふくしのまちプラン』が「絵に描いたもち」にならないようにプランの推進に努めています。



令和7年度 平田ふくしのまちプラン 事業報告

実施したこと

年間テーマ	多様な人や団体が集い、語り合える交流の機会づくり												
年度目標	「地域のお宝の発見と見える化」 地区内の集いの場を発見し、その大切さや意味が見える化し発信する。 「多様な人や団体と共に、平田に必要な福祉のまちづくりを考える」 地区住民の声や思いをもとに、『第4次平田ふくしのまちプラン』を策定する												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
「あいさつ+ひと声運動」	毎月1回(第3木曜日)西小あいさつ運動 毎月1回(第1水曜日)船中あいさつ運動												
カフェ ゆきのやま	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
参加人数	45人	20人	68人	85人	34人	46人	29人	23人	50人	31人	42人	52人	
「交流の場づくりの充実」 ふれあい広場	うたごえ喫茶	健康講座	パンまつり	ひらた食堂 カレーを食べよう	龍音太鼓演奏会	手品	よし笛 音楽コンサート	歴史探訪 ぶらぶら散歩	パンまつり	竹灯籠展示・抹茶	生け花展示 木猫隊演奏会	マリサイクル	
各種団体との連携	SEA TO SUMMIT カフェ出店	←若者や子どもたちが楽しめる機会づくり→ (まち協若者定住部会・地域活性化部会とのコラボ企画)						文化祭 カフェ出店	わくわく こらぼ村 カフェ出店				
企画推進委員会	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
懇談会・講演会				懇談会								中学生懇談会 講演会	
広報・啓発	←カフェゆきのやま&ふれあい広場など活動案内・チラシ発行(毎月)→ 第2号発行 広報ささえあいいね												

令和8年度 平田ふくしのまちプラン 事業計画

実施すること

年間テーマ	多様な人や団体が集い、語り合える交流の機会づくり											
年度目標	「地域のお宝の発見と見える化」 地区内の集いの場を発見し、その大切さや意味が見える化し発信する。 「多様な人や団体と共に、平田に必要な福祉のまちづくりを考える」 地区住民の声や思いをもとに、『第4次平田ふくしのまちプラン』を策定する											
第3次計画で進める3つの柱	①あいさつ+ひと声運動 ②交流の場づくりの充実 ③各種団体と共に歩み助け合う											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「あいさつ+ひと声運動」	毎月1回(第3木曜日)西小あいさつ運動 毎月1回(第1水曜日)船中あいさつ運動											
カフェ ゆきのやま	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺
「交流の場づくりの充実」 ふれあい広場	小作品展示 ゆるふでもじと	わら細工展示	絵画・木工 作品展示	ひらた食堂	音楽演奏会	ひょうたん細工	パンまつり	文化祭出店	しめ縄づくり	生け花・抹茶	薬とサプリメントの話	マリサイクル
各種団体との連携	← 各種団体の活動を知り、協働できる機会をつくる → ← 5者会議で話し合う機会を持つ →											
企画推進委員会	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺
懇談会・講演会			懇談会						講演会			中学生懇談会
広報・啓発	←カフェゆきのやま&ふれあい広場など活動案内・チラシ発行(毎月)→ 第4次平田ふくしのまちプラン案完成 第3号発行 広報ささえあいいね 第4次平田ふくしのまちプラン発行											

- まちプラン推進に向けて、R8年度に進めていくこと
- ・第2層協議体の運営、地域支え合い推進員の設置により計画推進の充実を図る。
 - ・講演会&懇談会の開催(年2回)、中学生懇談会の開催(年1回)
 - ・地域のお宝(集いの場)の発見と見える化、広報「ささえあいいね」の発行
 - ・地元の人財や資源を活かした「ふれあい広場」の充実
 - ・第4次平田ふくしのまちプランの策定

あいさつ+ひと声運動

第1水曜日7時45分から民生委員と一緒に船岡中学校で、第3木曜日7時40分から八日市西小学校で、「おはよう！」のあいさつにひと声プラスして、声かけ運動を行っています。本年より更生保護女性会のみなさんが、八日市西小学校での運動に参加していただけることになり、この運動が広がり始めていると感じています。

以前は、こちらから声をかけないとあいさつしてくれない子どもが多くいましたが、最近では子ども達からあいさつをしてくれるようになりました。また、地域で出会った時にも子どもたちとコミュニケーションができる機会が増え、この運動

が人と人とのつながりをつくるきっかけになっていることを実感しています。

あいさつは、人間のみが持つ社会性であり、他の動物には見ない習慣で、人と人が共生していくための基本的な行動と言えます。みなさんも学校、家庭、地域で、出会った人にあいさつに加えて、ひと声かけることを意識してみませんか？無縁社会といわれる今日ですが、人と人とのつながりづくりを挨拶からはじめましょう！

是非、みなさんも各学校でのあいさつ+ひと声運動に参加してみてください。



に企画しています。また、平田の黒豆を使い、京都府山科区にあるパン屋さんとコラボした黒豆パンは、パンまつりの目玉商品として好評をいただいています。

パンを通じて広がる人のつながりを大切に、今後はもっとたくさんの方に楽しんでもらえるように、他団体のイベントとのコラボ開催を検討しています。



子どもをはじめ若い世代のみなさんが楽しく集える機会、平田の良さを知ってもらうきっかけとして、平田地区まちづくり協議会の若者定住部会、地域活性化部会とコラボし、カフェゆきのやま・ふれあい広場のイベントとして開催しています。

地区内外のお店やキッチンカーに出店いただき、普段買えないパンを手にとってもらえるよう



平田ふくしのまちづくり懇談会

「人がつながり、見守り合える、みんなが主役の平田を目指して！」

平田地区のみなさんの“こんなまちにしたい”という声や思いを、地域の福祉を進めるための活動計画『第4次平田ふくしのまちプラン』に反映して行くことを目的に開催。5年後の平田地区を見据えて、今どんなことが必要で、わたしたち住民が何をしないといけないのかを考え合う機会になりました。



■平田地区ってどんな感じ？

○良いなと思うところ

- ・同居世帯、近くに家族や親戚がいる家庭が多い。
- ・穏やかで、温かい人のつながりがある。
- ・元気な高齢者が多く、近くに集いの場や身体を動かせる機会がある。
- ・子どもがあいさつしやすいまち。
- ・自然が豊かで、静かな環境が良い。



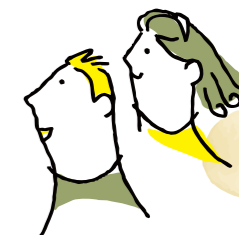
○気になるところ

- ・近所付き合いや人のつながりの希薄化と行事など人となりが合う機会の減少。
- ・少子高齢化や若者の流出により、担い手や後継者が不足。
- ・子ども同士で遊ぶ機会と場が少ない。
- ・車がないと買い物などが不便で生活しにくい。店も少ない。
- ・「何かやってみたい」と思っても、1人ではできない。



■夢でも良いから、必要なことを考えてみよう！

- ・「助けて」と言い合える、見守り合えるまちにしたい。
- ・移動や買い物に困らないしくみづくり。
- ・やりたいことを応援して、一緒に動いてもらえる仲間づくり。
- ・子どもたちがやりたいことで、楽しめる行事があると良い。
- ・豊かな自然を活かした体験活動や農地の活用



カフェゆきのやまとふれあい広場

みんなが気軽に集い、何でも話せる場・みんなが活躍できる機会づくり

出張カフェ

「南方ふれあいサロン」より、カフェゆきのやまのコーヒーをサロン参加者でいただきたいとの声があり、出張カフェを実施。普段コミセンまで出にくい方にも楽しんでいただき、参加者のみなさんとの楽しい一時になりました。



ぶらぶら散策 歴史探訪



ひらた食堂～カレーを食べよう～



うたごえ喫茶



生け花展示



龍音 太鼓演奏会



よし笛コンサート



一乗かなめさん 手品ショー



木猫隊 演奏会



毎月第3日曜日 13時より、平田コミュニティセンターでオープン!

コーヒーやお茶を飲みながらおしゃべりしたり、久しぶりの再会を楽しんだり、初めての方でもふらっと立ち寄れる地域のカフェです。月替わりで楽しい企画も盛りだくさん。孤立や閉じこもりの防止につながり、おしゃべりはフレイル予防や認知症予防にも効果的です。

懐かしい歌をみんなで歌う「うたごえ喫茶」、平田の歴史を歩いて楽しむ「ぶらぶら散策歴史探訪」、「よし笛」、「和太鼓」、「木猫隊の演奏会」など、地区内外の方の趣味や得意等をもつ人財の力を借りて、みんなが楽しめる企画をご用意しています。

高齢の方から子育て世代まで、世代をこえて楽しめるカフェに来てみませんか?

平田お宝発見!

ふだんの暮らしの中で何気なくされている、見守り合いや人のつながりが生まれる集いの場に参加しました。自然で、気楽で、楽しくて、地域の「お宝」だと感じるポイントをたくさん発見できました。みなさんの身近な地域でも、こんな活動いかがですか？

西方ふれあいサロン

「昔のようなお茶飲み会の代わりになるサロンは大切な地域の居場所」とみなさん、毎月のサロンを楽しみにされています。今回はフレイル予防のお話と体操で、人のつながりが健康寿命につながることを確認しました。他にも散歩、グラウンドゴルフ、子どもとの交流、そして、12月には黒豆収穫後の黒豆拾いなど、少しでも外へ出かけて楽しめる機会をつくることを心がけておられます。

サロン以外にも、老人会やお寺参りなど、集う機会があることで参加されない人をみんなで気にかけてあげることができ、きっかけになることを教えていただきました。



開催頻度 年12回
 主な開催時間 10:00 ~ 12:00
 開催場所 西方集落センター

南方まちリハ つながり

毎回はじまりは、みんなでラジオ体操。主に60歳以上の方が参加して、ストレッチやゲームで身体を動かしたり、口腔ケアやフレイル予防、みらいノート等の勉強をしたり、いつまでも健康な状態でいられるようにという思いで、令和6年12月から活動されています。毎回、勉強になることが多く、自分の身体の状態がよくわかるようになったという声もあるそうです。ピラティスをされる日に取材。みなさんワイワイガヤガヤ、自分の健康のために一生懸命、身体を動かされていたのが印象的でした。

また、月1回、顔を合わせ、おしゃべりすることで互いの元気を確認し合い、健康長寿に大切な社会性の維持にもつながる機会になっていると感じました。



開催頻度 月1回
 主な開催時間 10:00 ~ 11:30
 開催場所 南方集落センター

いこいの会

「健康でいきいきした毎日をすごすため、あなたの食生活を見直しましょう」このことをモットーに平田地区の健康推進員が料理教室として開催されています。調理実習とともに、保健師による健康づくり、薬剤師による薬とサプリメントのお話、口腔ケア、音楽療法などを学び、健康の大切さを再確認できる機会になっています。

新しい健康料理を学び、食事を楽しみながら会話も弾んで、年3回の開催が待ちどおしいという声があり、みなさんの健康と元気を確認し合える場であることが印象に残りました。



開催頻度 年3回
 主な開催時間 10:00 ~ 12:00
 開催場所 平田コミュニティセンター

上平木町ゲートボール

定年退職後の楽しみとして、週3回、無理のないペースで日々和気あいあいと練習を続けておられます。楽しみなのはプレーだけではなく、休憩時には自然と輪ができ、町内の出来事や近況など、おしゃべりタイムも大盛り上がり。交流と情報交換の場として楽しみにされている方も多いそうです。月2回ほど大会が開かれ、いざ試合となると、勝利を目指して作戦会議。チーム一丸となって頭をフル回転。これがなかなか難しい…けれど、その分やりがいもひとしおです。

「考えて、動いて、仲間と笑う。それが生きがい」と、皆さん楽しそうに話してくれました。



開催頻度 毎週火・木・日曜日
 主な開催時間 9:00 ~ 11:00
 開催場所 上平木町草の根広場



下羽田ウォーキング

雪野山の色付きや白鳥川の桜や紅葉など、季節を感じながらウォーキングされている方がおられます。今回は下羽田町にお住まいの方3名に取材しました。みなさん健康づくりや筋力アップのためにウォーキングをはじめられたそうです。いつもは時間を合わせて歩くことはないそうですが、散歩中に会う人、畑作業をされている人がいれば井戸端会議が始まり、歩くだけでなく、そんなおしゃべりも楽しみの一つになっているそうです。他町から散歩に来られる人もいて、下羽田町周辺がみんなのウォーキングを通じた集いの場になっているように感じました。



開催頻度 ほぼ毎日
 主な開催時間 16:00頃
 開催場所 下羽田町周辺

鳴谷畑サロン

畑を借りて、鳴谷の仲間が野菜作りをはじめて10から15年になり、最初は、みんな野菜作りは未経験でしたが、お互いに情報を交換しながら、楽しんで続けてこられました。無心で土をいじること、収穫した野菜での食事づくりで、心も身体も健康になると言われていました。

時に数名が集まれば、お茶とお菓子をもち寄り休憩しながら、おしゃべりすることも楽しみの一つで、畑の近くを通りかかった人も足を止め会話に加わり井戸端会議が始まるそうです。野菜づくりやおすそわけなどの交流を通して、健康づくりや見守り合いの機会になっていることを感じました。



開催頻度 随時
 主な開催時間 随時
 開催場所 鳴谷近辺の畑

日本よし笛の会 あかねグループ

結成は平成18年。福祉施設や敬老会、新年会、地域のイベントなどに出かけ、よし笛の音色を楽しんでもらえる機会を提供されています。毎月顔を合わせて練習されておられることが、メンバー自身のやりがいや生きがいにつながっているのではないかと感じました。

よし笛は、琵琶湖に育つ「よし」から作られた、自然そのものの楽器。高い音はすーっと澄んで爽やかに、低い音は湖を渡る風のようにやさしく響きます。「なんだかホッとする」、「気持ちが落ち着く」などの声があり、まだ聴いたことがない方も、是非一度、よし笛の音色に耳をすませてみてください。心にそっと、ゆとりとやすらぎを届けてくれますよ。

練習頻度 月1回
 主な練習時間 13:30～15:00
 開催場所 蒲生コミュニティセンター



和太鼓演奏集団 龍音

令和元年7月に活動をスタート。始まりは、わずか5名だったそうです。今では、五個荘・永源寺・湖東など、各地のイベントに声がかかるようになり、演奏の機会も仲間も広がっています。メンバーには、三味線や横笛の先生、さらにはピラティスの先生まで。音楽や身体表現の経験を持つ、個性豊かな顔ぶれが集まり、龍音ならではの表現をつくり上げておられます。

「とにかく明るく、元気に！」を合言葉に、太鼓の音と笑顔があふれる、活気ある練習を続けておられます。演奏の際に着るお揃いのTシャツには、力強い「龍」が描かれおり、その姿は、龍音の迫力と団結力を象徴しているそうです。心まで響く和太鼓の重低音を、是非みなさんも体感してみてください。

練習頻度 月2回
 主な練習時間 13:00～14:30
 開催場所 平田コミュニティセンター



平田幼稚園があかね幼児園へ統合され、子どもの拠点が地区から無くなってしまおうという思いもあり、2019年1月の平田コミュニティセンターのリニューアルオープンにあわせて、市の委託事業をまち協が受託し活動をスタート。

主に0から5歳の親子が参加され、親子で遊んで交流できる機会、気軽に子育てのことを相談できる場です。絵本の読み聞かせや紙芝居、ダンス、季節に合わせた製作や運動遊びなど、親子で楽しめるイベントも盛りだくさん。家に無いおもちゃで遊べたり、就園前に同級生と知り合えたり、子育て支援の情報を共有できたり、地域で安心して子育てができるための拠点になっていることを感じました。

スタッフのみなさんは、アットホームな雰囲気の中で、ここに来たら親がリフレッシュができて、改めて、子どもと向き合えるように寄り添うこと、子どもの成長を一緒に見守ることを大事にされています。すずかけっこに来たら、顔見知りのスタッフや知り合いがいて、日頃の子育てを振り返ることができる、安心感とつながりが生まれる場なのだと感じました。

開催頻度 毎週月～金曜日
開催時間 10:00～15:30
開催場所 平田コミュニティセンター



TOPICS

コミセンのロビーが、子どもたちの集いの場に!?

放課後、平田コミセンのロビーに自然と小学校や中学校の子どもたちが集まり、宿題をしたり、一緒に遊んだりしています。子どもたちが外で遊ぶことが減り、安心して遊ぶ場が少ないと言われている中で、素敵な子ども主体の居場所になっていることを感じています。こんな場が地域の中にもっと広がっていくと良いですね。



平田 人財発見

登校見守りウォーキング 福山徳七さん（平田町）

「おはよう」と小学生の登校集合場所に来られた福山徳七さん。特別に用事のない日は毎朝、子どもたちが登校する柏木町の蛭子神社の交差点までの道と一緒に歩いて、登校見守りをされています。自身の病気をきっかけにウォーキングをはじめられたそうです。「自分が子どもたちに連れていってもらってるんや。」と話す福山さんは、蛭子神社からの帰りに登校する中学生にも声かけをされているそうです。

自分の健康づくりとして、子どもの見守りにもつながる福山さんの取組は、活動と言わない自然な営みであり、「お宝」と言える素敵な取組だと感じました。



画家 福山敬之さん（平田町）



「小さい頃から絵を描くのが大好きだった」と語る福山敬之さんは、美術大学で日本画を学び、和紙や墨、岩絵の具などの伝統的な素材で、山や畑、川、路地などの風景を描かれています。日本画と現代アートを融合したようなカタチにとられない心温まる絵画やスケッチを描かれ、各地で個展を開催されています。

現地へ行き、目で見て「今この風景を描きたい」と感じた風景を絵にすることを大事にされており、京都や大阪、奈良、福島、能登など全国各地へスケッチ旅行に出かけられるそうです。

また、画家としての人生の中で「自分の絵ってなんだろう」と迷いを感じた時期に、身近にある地元の風景を描くようになり、その時に「平田地区には何も無いと、よく地元の人と言われるけど、自分にとっては絵になる素敵な風景がたくさんあった。普段、気にもしていない当り前の風景に実は『美』がある。」と感じたそうです。

福山さんの画家としてのお話の中から、私たちが何気なく暮らしている環境の中に素敵な「お宝」と言える物があり、それは風景だけでなく、人と人とのつながりも同じだと気付かされ、当り前にあるものを見つめ直してみることの大事さを強く感じました。

編集後記

今年度も「カフェゆきのやま」と「ふれあい広場」を中心に、多くの方に支えられながら平田地区の活動を続けることができました。うたごえ喫茶やパンまつり、演奏会など、毎月催しには笑顔と会話があふれ、地域のつながりの大切さを改めて感じる一年となりました。あいつつ運動や中学生との交流、出張カフェなどの取り組みも、地域の輪を広げる力となっています。本誌を読んで頂いて、一年の歩みを振り返り、来年のより良いふくし活動につながれば幸いです。今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。